バアバちゃんの子育て考

NO. 6

吉田緑こども園
理事長　長谷川智子

さあ、二学期がはじまりました。

オリンピックも済んで「一生懸命取り組む素晴らしさ」「努力しているアスリートの姿」それでも一回の舞台で失敗してくやしい思いもすることがあるのですね。

悔しさを糧に「諦めない」「継続する」「楽しく取り組む」こんな姿をたくさん見せてもらいました。

子育てもいろいろ

よいと思う事を継続する。子どもと一緒に楽しめるようにゆとりがあるといいですね。

先日（8 月 19 日）再従妹（またいとこ、はとこ）に所用があって電話をしました。

その時、はとこ曰く

「ちょっと用事があって埴生に行ったらエイマオジサン（私の父）を思い出してお墓参りをさせて貰いました。」との事。吉田の地で生まれたその再従妹は何かの拍子に父に会うたびに『おい、チョコやろう』とか『元気か？飴を食べ』とか言ってポケットから何らかの菓子を貰ったそうです。食べ物を貰うのはさておき、声をかけてくれる人がいる事に喜び・誰かがいる安心感を抱いていたのではないでしょうか。

絆とか、つながるとか言うのはその様な事なのですネ。温かい思いが湧いてきました。

私も何かの時に思い出して貰える“年寄”をめざして、も少し生きてみようかな？と考えています。

毎日子ども達の笑顔に癒され、活力に励まされています。お父さん、お母さん方、子どもがいるって親を成長させてくれるのです。大変（？）だけど感謝の念を持って、子どもと向き合って見て下さい。大きな宝を持っていると感じますよ。

感染症予防にも大切な歯みがき

ほけんニュースより

「マスクの着用、手洗い、うがい」の必要性が叫ばれています。全国の学校、幼稚園、保育所での歯みがきは、唾液を噴霧する恐れがあるので、自粛傾向となってしまいました。

しかし多くの感染症を予防するうえで口腔清掃がとても効果があります。

歯みがきで口の中の衛生を保ち

★ 感染症を予防しよう

歯みがきは、むし歯の予防だけでなく、感染症の予防に重要であることがわかってきました。口の中のミュータンス菌や歯周病菌が、いろいろな病気に関係しているともいわれ、口の中を清潔に保つことが将来にわたって健康に過ごすことにつながります。

感染症を予防するためにも、食後や寝る前に歯みがきをきちんと行う事が大切です。

★ 飛沫予防に！コロナ禍での歯みがきは

唾液を飛散させない歯みがきの方法は、口を閉じて、やや下向きになって磨いたり、片手を口の前に添えて磨いたりすることだと最近の研究でいわれています。歯みがきの時には、ぜひ取り入れて見て下さい。

★ 保護者が仕上げみがきを

3 歳頃から自分で磨く練習をし始め、4 歳、5 歳ぐらいになると、だんだん上手に磨けるようになってきます。しかし、子どもだけでは細かいところまで、きちんと磨くことができません。保護者の方が寝る前にしっかりと仕上げみがきを行って下さい。仕上げみがき用歯ブラシは別に用意して行いましょう。